

WITHコロナ 企業支援の取組



小牧市 令和3年3月

○背景

本市では平成26年に「小牧市企業新展開支援プログラム」を策定し、「持続して発展を続ける小牧市の産業・経済の確立」を基本理念として、経営の安定化支援、産業集積強化、企業チャレンジ支援の3つの戦略に基づいて本市の産業振興に取り組んできました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業は資金繰りの悪化や新型コロナウイルス感染症への対応による費用負担が重荷になっています。さらにアジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区に指定されている本市の航空宇宙産業も大きなダメージを受けており、経済指標としては右肩下がりとなっています。

そこで、企業新展開支援プログラムの改訂を一時中断し、新型コロナウイルス感染症の影響の対策として具体的な支援を実施してきました。

○コロナ禍での具体的施策

新型コロナウイルスの影響により、資金繰りに苦しむ事業者に対して、融資を受ける際に必要な認定を行うなどの支援を行いました。

さらに、新型コロナウイルスの影響により特に打撃を受けている飲食業については早急に補助をする必要があることから、様々な対策を行いました。

また、企業が今後長期的に厚生労働省が示す感染防止のための「新しい生活」へ対応するためには、これまでの対面型ビジネスから非対面型ビジネスへの転換が求められ、工場、店舗、事務所等で一定の設備や備品などが必要になります。

本市はこのような状況の中、国の施策との整合性を図りながら新たな施策の実施や見直しを柔軟に行い、新型コロナウイルスの収束後を見据えた施策を展開してまいります。

(1) 令和2年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策

【補助制度】

名称	実績
<p>●経済環境適応融資助成制度の拡充 新型コロナウイルス感染症の発生に起因し事業に影響を受けた中小企業者の経営安定化を図るため、<u>セーフティネット保証4号、5号、危機関連保証</u>を利用した事業者に対して、保証料の助成を行いました。</p>	<p>申請件数：125件 総額：49,811,800円 (令和3年2月末時点)</p> <hr/> <p>認定件数:2,212件 ・セーフティネット4号：942件 ・セーフティネット5号：324件 ・危機関連保証：1,244件</p>
<p>●飲食店新型コロナウイルス感染症対策補助金 飲食店が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて実施した、新型コロナウイルス対策に係る費用の一部を助成しました。</p> <p>【申請期間：4月15日～11月30日】</p>	<p>申請件数：157件 総額：16,886,000円</p>
<p>●愛知県・小牧市 新型コロナウイルス感染症対策協力金 県の休業協力要請に応じた事業者に対し、協力金を県と折半して交付しました。 ※休業協力要請とは、対象施設を営む事業所は全日において休業することとし、食事提供施設は午前5時から午後8時までの営業とすること。</p> <p>【申請期間：5月11日～6月30日】</p>	<p>申請件数：632件 総額：158,000,000円</p>
<p>●小牧市 新型コロナウイルス感染症対策協力金 愛知県・市町村 新型コロナウイルス感染症対策協力金で対象外の事業者を、市独自の協力金を創設して支援しました。(理美容業含む)</p> <p>【申請期間：5月11日～6月30日】 ※理美容業：6月4日～7月5日</p>	<p>申請件数：190件 総額：31,150,000円</p>
<p>●販路開拓支援補助金の拡充 新型コロナウイルスの影響を受けて、従来開催されていた展示会がオンラインに移行している事例が多いことから、<u>オンライン展示会出展料</u>についても補助対象としました。</p> <p>【令和2年8月13日より受付開始】</p>	<p>オンライン展示会 申請件数：6件 総額：483,600円 (令和3年2月末時点)</p>
<p>●新型コロナウイルス対策新しい働き方応援補助金 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた、テレワークの取組にかかる費用の一部を補助します。</p> <p>【令和3年2月1日より受付開始】</p>	

【経済対策】

新型コロナウイルス感染症 3つの経済対策

●こまき応援キャッシュレス決済ポイント還元事業

PayPay と auPAY の市内契約店舗において、令和2年10月中にキャッシュレス決済をした場合に10%のポイントを付与しました。

【ポイント還元期間：令和2年10月1日～令和2年10月31日】

実績：決済金額（店舗売上）129,328,843円、還元額 8,273,962円

●こまき応援食事券事業

新型コロナウイルス感染症に関連して大きく落ち込んだ市内飲食店の消費需要を喚起し、地域経済の回復、市民の家計を下支えすることを目的に、プレミアム率100%のこまき応援食事券を3万セット完売しました。

【食事券利用期間：令和2年11月1日～令和3年5月31日】

●こまきプレミアム商品券事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援と市民生活の下支えを行い、低迷した市内経済の活性化を図るため、プレミアム率を30%に拡大したプレミアム商品券を15万セット完売しました。

【商品券利用期間：令和2年12月1日～令和3年5月31日】

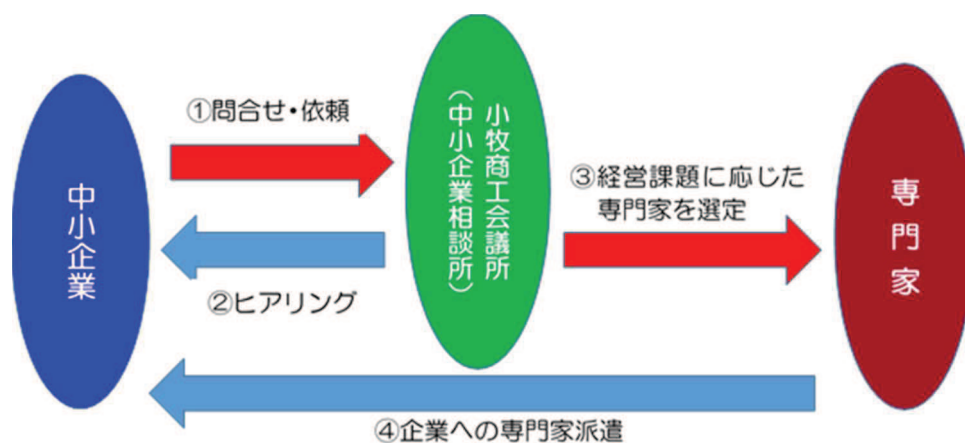
【伴走型支援】

●中小企業相談所運営費補助金の拡充（伴走型専門家派遣事業）

中小企業相談所運営費補助金を拡充し、中小企業が積極的に国・県の補助制度の活用などができるよう、小牧商工会議所を通して伴走型支援を実施しました。

具体的には、国の助成金の申請やテレワークの実施による就業規則の変更、情報発信支援補助金・持続化補助金、事業継続力強化計画はじめBCPの対応など各種経営改善計画の策定等に取り組む中小・小規模事業者等へ、小牧商工会議所を通じて社会保険労務士などの専門家を無料派遣し伴走型支援を行いました。

[推進体制のイメージ]

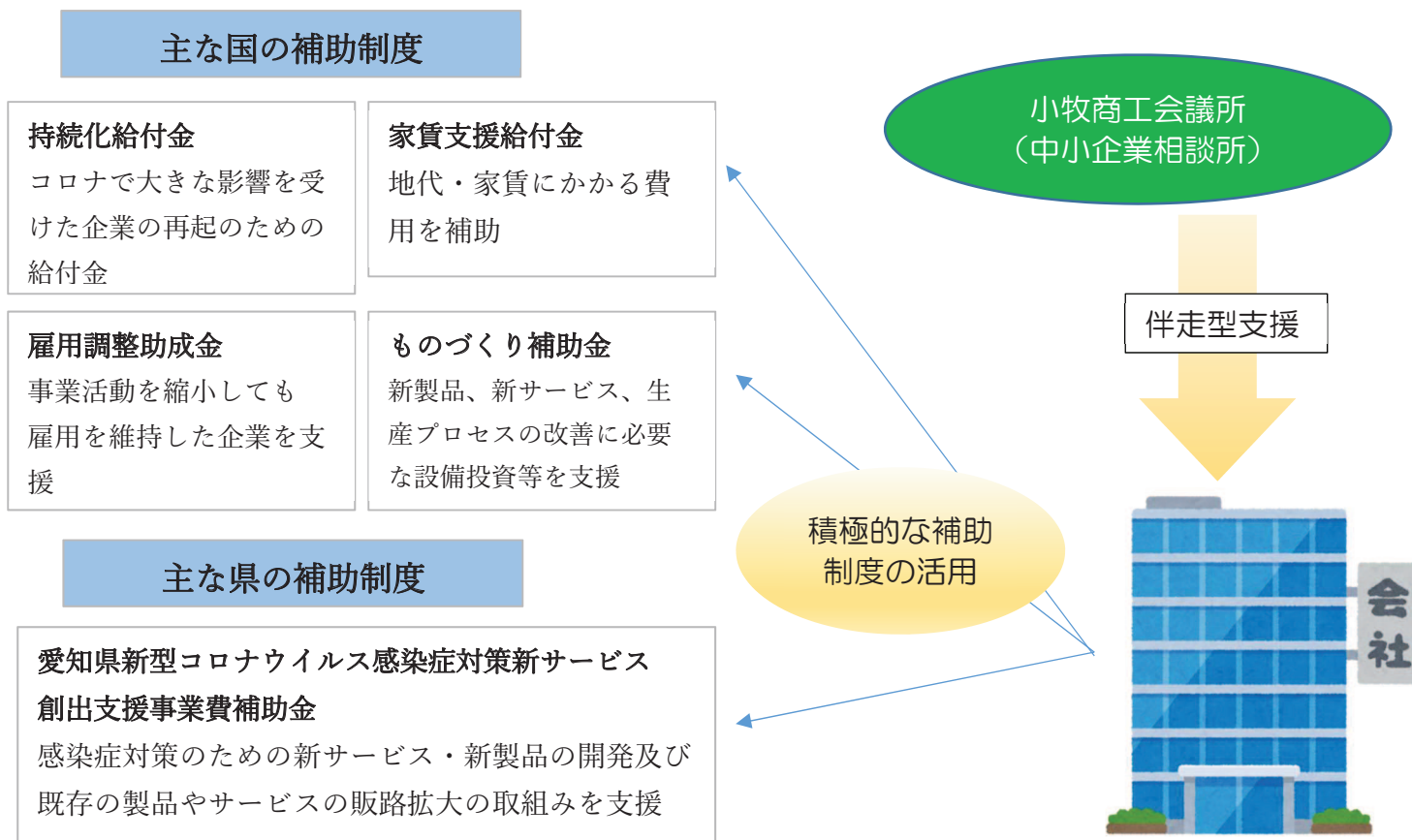


(2) 今後の新型コロナウイルス感染症対策

1. 国・県の補助制度の活用サポート

令和2年度から引続き、中小企業相談所運営費補助金を拡充し、小牧商工会議所を通じた中小企業への伴走型支援を行います。

[推進体制のイメージ]



2. 市独自の補助制度の検討

今後の新型コロナウイルスの感染状況や市内企業のニーズ等を踏まえながら、具体的な支援を検討し効果的に実施していきます。

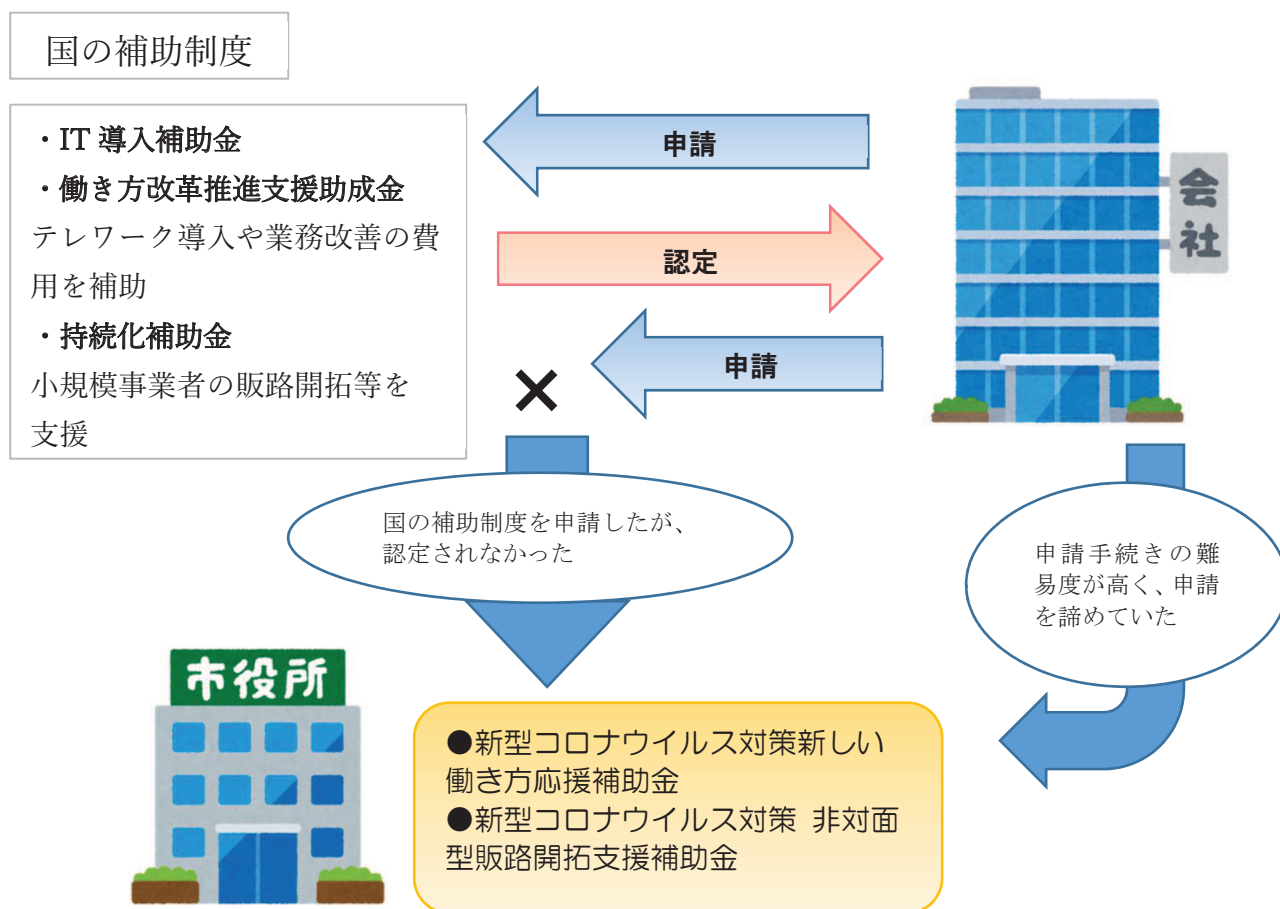
●販路開拓支援補助金の拡充	
概要	新型コロナウイルスの影響を受けて、従来開催されていた展示会がオンラインに移行している事例が多いことから、 <u>オンライン展示会出展料</u> についても補助対象とします。(令和2年度から継続)
●こまきプレミアム商品券事業	
概要	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の支援と市民生活の下支えを行い、市内経済の活性化を図るため、プレミアム率を20%にして実施します。

3. 国・県の補助内容で補えない部分への補助

国や県の補助制度で補えていない内容や対象者について、柔軟に支援を検討し実施していきます。

●新型コロナウイルス対策 新しい働き方応援補助金	
概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた、テレワークの取組にかかる費用の一部を補助します。
備考	令和2年度から継続
●新型コロナウイルス対策 非対面型販路開拓支援補助金	
概要	新型コロナウイルスの影響を受けて、非対面型の販路開拓を推進するためのECサイト導入費用やWEBサイト開設・改修等にかかる費用の一部を補助します。
備考	令和3年4月1日より実施予定

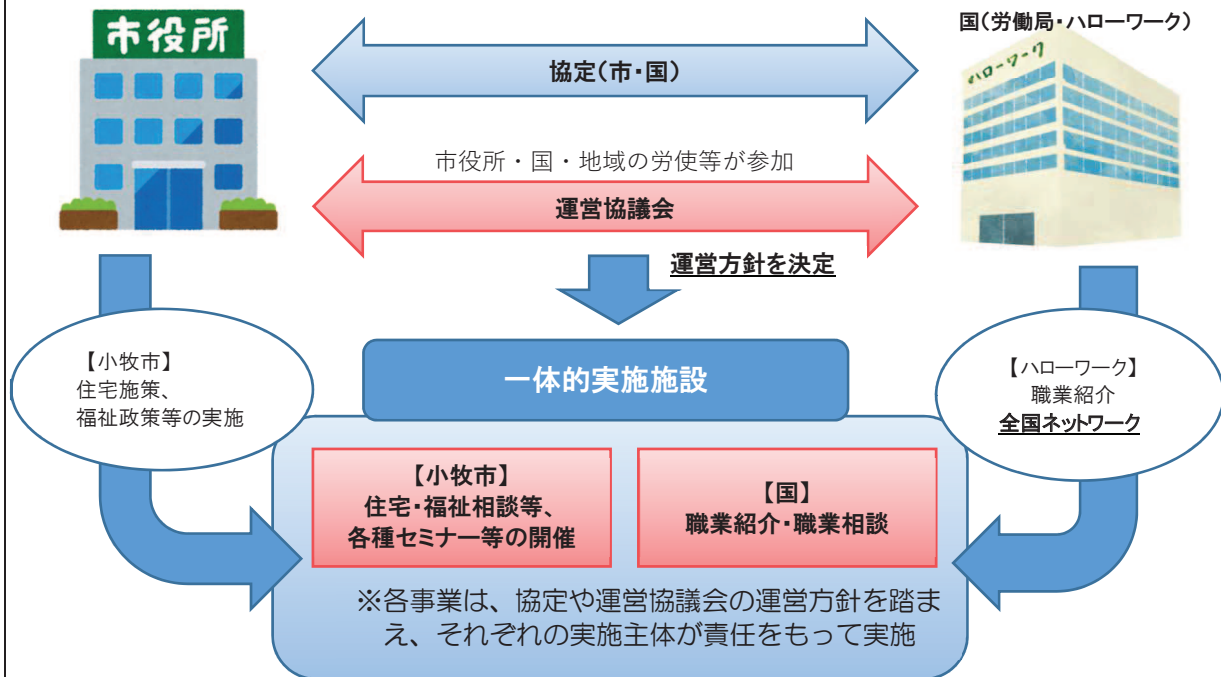
[推進体制のイメージ]



4. 小牧市就労支援センターの設立

地域住民の生活の安定・再就職の促進を図るため、令和3年4月1日より小牧市就労支援センターを市役所内に設置し、小牧市が行う就労支援サービスと、国（ハローワーク）が行う職業相談及び職業紹介等を一体的に行うことにより、利用者に対する総合的な就労支援サービスを実施し、小牧市の就労率強化を図ります。

[推進体制のイメージ]



○今後の対応について

WITH コロナへの対応として、新型コロナウイルス感染拡大の防止と経済活動の両立を目的に、必要な施策を状況に応じて実施し、効果的な事業実施に努めます。

また、小牧商工会議所やこまき新産業振興センターと連携を図り、今後のコロナウイルス感染症や社会情勢の動向などに留意し、随時、取組の見直しを行うなど、柔軟な運用を図ります。